



# 記念樹

発行者  
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋9組の5  
TEL 097 - 543 - 5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2017年5月15日 Vol.118

## 「メイヨー・クリニック」の医療・経営理念に学ぶ

メイヨー・クリニックは臨床医学と教育のみでなく、世界的に高い評価を受けている医療研究機関であり、常に全米で最も優れた病院のひとつに数えられています。

歴史的には、メイヨー・クリニックは19世紀半ばリンカーン大統領の時代に米国ミネソタ州のロチェスターという小さな村に開業したイギリス人移民の医師ウイリアム・ウォラル・メイヨーによりその基礎が作られました。彼の二人の息子、兄のウイリアム・ジェームス・メイヨーと弟のチャールズ・メイヨーが成長して立派な外科医となり、協力し合って当時医学・医療に於いて先進国であったイギリスやドイツの新しい医療技術(消毒法、麻酔、外科手術など)を学びながら診療レベルの向上に努め、1914年頃に現在のメイヨー・クリニックの基盤が築かれたとされています。その後1939年5月に弟のチャールズをしてその2ヶ月後に兄のウイリアム・メイヨーが相前後してこの世を去りました。しかし、メイヨー・クリニックの繁栄は揺るぐことなく、100年という長い歳月を超えて発展を続け現在ではミネソタ州ロチェスター市に本部を置き、フロリダ州とアリゾナ州に支部を持つ大規模な総合病院に成長しました。現在メ

イヨー・クリニックはメイヨー医学学校を併設し、医師数は2千5百人以上、全従業員数は4万2千人以上に上るのですが、このような多数の医療従事者が献身的にメイヨー・クリニックの100年ブランドを維持する原動力となっているのはメイヨー兄弟の時代から受け継がれた医療理念、即ち何よりも患者のニーズを優先することと、それを可能にするためにすべての病院スタッフが協調し、努力するという精神であり、それがこの組織の中にいまだ根強く残っているのだと思われます。そのことは、ウイリアム・メイヨー博士が晩年に、メイヨー・クリニックの将来的な成功に不可欠の条件として挙げた次の三つの条件によく表現されています。

- ①利益ではなく、サービスの理想を追求しつづけること。
- ②個々の患者のケアと幸福を、第一にかつ真摯に考えつづけること。
- ③スタッフ全員が他のすべてのメンバーの専門家としての進歩に関心をもちつづけること。

以上のような医療の精神を肌で教え込んだのが父親の医師であるウォラル・メイヨーであり、クリスチャンでしたが、宗教よりも科



学を重んじ、人を差別せず、金への執着がなく、正義感の強い人物だったようで、彼の息子達も父親の精神を受け継いだに違いありません。メイヨー兄弟は私腹を肥やすことをせず、病院のスタッフ全員とパートナーとして寛容で平等な協力関係を築き、職員一人一人に「患者中心のグループ診療」の大切さとチームワークの大切さを教育したのです。さて、私たちの大分記念病院も開院以来「患者中心のグループ診療」を実践しており、前からメイヨー・クリニックの成り立ちやその素晴らしい医療理念と医のアートの励まされて今日まで努力してきました。今回2009年1月に米国で出版された「すべてのサービスは患者のために」を改題した翻訳本に出会い、わが意を得たりと感動一入です。今後この医療理念を念頭に病院スタッフ全員の協力のもと一歩一歩前進したいと思えますので地域の皆さま方のご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。(豊田)



## たばこケースのプレーンパッケージ規制法制化

2003年5月21日WHOは第56回総会で「たばこ規制枠組条約」を採択し、2005年2月27日に発効しました。この条約にはたばこによる国際的な健康被害をなくするために実施すべき38条からなる項目が述べられています。日本はWHOの発効に先立つ2005年2月2日に公布、当日より発効しています。

喫煙の害については世界的に理解が進み、近年では禁煙を推進するため、たばこパッケージの前面に喫煙被害を表す写真を載せるなど国際的に積極的な対応が行われてきました。

また、喫煙は2011年9月国連総会ハイレベル会議で取り上げられ、がんや心疾患、脳卒中、慢性呼吸器疾患、2型糖尿病など非感染性疾患の予防とコントロールに関する最も重要な因子とされました。それを受

けて喫煙に対してより積極的な対応が行われるようになり、オーストラリアでは2011年12月1日プレーンパッケージ規制が法制化され、より強力な喫煙規制が行われるようになりました。国際的にも多くの国々でプレーンパッケージ規制が法制化されています。

プレーンパッケージ規制ではたばこケースの外装には指定色以外は使用禁止、前面に有害警告画像を必ず掲載すること、販売促進につながるロゴ・色彩・ブランドイメージ表現は禁止とされています。

イギリスでも昨年プレーンパッケージ法が施行されました。ご覧のようにケースの色は白一色、銘柄はケースの表面に凹凸をつけてあるだけという厳しいものです。このプレーンパッケージ法の施行が極めて強力な禁煙効果をもたらすことは証明されており、これまではたばこ産業が

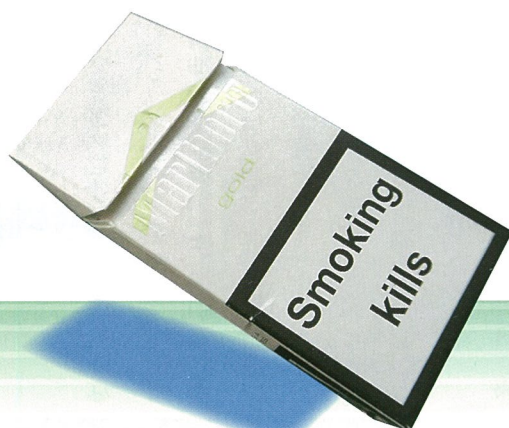
注いできたたばこ市場の拡大についての全ての努力を無にするほどの効果があると言われています。

このような国際的な喫煙防止の流れに対して、日本たばこ株式会社はたばこの販売促進に熱心で、次年度はさらなる収益の増加を期待すると謳っています。

昨年8月、国立がん研究センターが受動喫煙は日本人の肺がんリスクを1.3倍に高めることを「ほぼ確実」から「確実」に変更しました。これに対して日本たばこは統計の誤りと反論、その反論の全てががん研究センターにより論破されたことはWeb上に詳しいのですが、日本たばこは更に反論して「見解の相異」と発表しました。また、昨秋行われた日本禁煙学会では発表の内容を変更された方もありました。

国際的に禁煙が推進され、世界の殆どの国々が受動喫煙の防止を法

制化して実施している今日、たばこ販売に邁進し受動喫煙の害を認めようとしないのはグローバルスタンダードからあまりにも離れています。日本は何処へ向かおうとしているのでしょうか。





## 新任医師 紹介

4月1日より内藤 淑子 先生が血液内科専門医として当院に着任されました。今後、幅広い分野で活躍されることを期待しています。



## 内藤 淑子 先生に インタビュー

### ■自己PRをお願いします。

今まで学んできたことを活かし、患者さんに貢献できるよう頑張りたいと思います。

### ■今後の抱負をお聞かせください。

スタッフの方々と良好な連携をとり、より良い医療を行うことです。

## 作りま専科

## アスパラガスの チンジャオロース 青椒肉絲風

### 材料(2人分)

鶏ムネ肉	120g
酒	小さじ1
塩、こしょう	少々
片栗粉	小さじ2
アスパラガス	60g
じゃがいも	100g
しょうが(すりおろし)	小さじ1
オイスターソース	小さじ2
酒	小さじ2
醤油	小さじ1弱
砂糖	小さじ1弱
鶏ガラスープの素	小さじ1/2
ごま油	小さじ1

### 作り方

- ① 鶏肉は約1cm幅の細切りにし、酒、塩、こしょうで下味をつける。
- ② アスパラガスは根元部分をピーラーでむき、約4cm幅に切る。
- ③ じゃがいもは約1cm幅の細切りにする。
- ④ フライパンに油をしき、片栗粉をまぶした鶏肉を炒める。
- ⑤ 火が通ったら一度フライパンから取り出す。
- ⑥ しょうがを炒め、ジャガイモを加える。
- ⑦ アスパラと鶏肉を加え炒め合わせる。
- ⑧ Aの調味料を加え煮詰める。
- ⑨ 香り付けのごま油を加えて完成。



**アスパラガスの選び方** 緑色が濃く、太さが均一なものがおすすめです。切り口が変色しておらず、みずみずしく新鮮なものがおすすめです。

## リレー・フォー・ライフ大分サロンのご案内

がんサロンは患者さんやそのご家族など、同じ立場の人ががんのことを気軽に本音で語り合う交流の場であり、がん診療連携拠点病院などの医療機関の中や公民館などに患者サロンを設置する病院や自治体が増えています。運営の仕組みも様々で、患者、家族が主体になっているサロンもあれば、医療者を中心に活動しているサロン、両者が協力しながら運営しているサロンもあります。

がんと診断された直後から治療が始まり、療養生活が続く、最初は話せていたことも、療養が長くなると家族や周囲の人に遠慮して話づらくなる場合があります。がんの病気の心配に加え、社会復帰や経済的な問題、日常生活における個人的な心配事など気になることが増え、誰にどのように相談すればよいかわからないと思悩、孤独感が深まっていきます。このような時に、当事者の視点で話を聞き、支えになってくれるのが「患者同士の支え合い」です。がんの体験を素直に話して相手に伝えることで、自分が病気のことをどのように理解して受け止めていたのかが改めてはっきりし、治療や療養生活の中でこだわってきたものが見えてきます。同じ体験をした人に話を聞いてもらうことによる安心感や連帯感が生まれてきます。今度は自分がほかの誰かの力になれるということに気づき、自分自身に自信を取り戻すきっかけになります。

私も当院の緩和ケア委員会を通じ、がんサロンに参加しています。『HOPE』を忘れない。楽しんで生活を再スタート出来るようにと患者さんやそのご家族が病気のことを振り返り、そして未来を見て活動している姿に、医療現場に関わる私たちにももっと出来ることがあると感じています。

リレー・フォー・ライフ大分サロンの患者、家族、サバイバー、支持者、医療者の集まりであるがん支援組織、RFLジャパン大分が運営しています。毎月第2日曜日10時から12時、当院の多目的ホールで開催しています。どなたでも参加できますので気軽に足を運んでみて下さい。会費は不要です。(緩和ケア委員会 依田 真実)



がん患者さんやそのご家族、介護援助者の方々の交流会です。  
一般の方もご自由にご参加ください。

毎月第2日曜日 午前10:00~12:00

当院の1階多目的ホールで開催しています。

主催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分



## インフォメーション

## 新入職員の紹介

今年1月～4月に入社した  
新入職員をご紹介します。  
どうぞよろしくお願いいたします。



小山田 真由美  
(看護部)

一つ一つ丁寧に仕事に  
取り組み、笑顔を忘れず  
に頑張ります。



黒木 のぞみ  
(看護部)

笑顔を忘れず患者さん  
やご家族の思いに寄り  
添う看護を心掛けたい  
と思います。



清松 佑里恵  
(看護部)

患者さんに寄り添っ  
た看護が実践できる  
ように心のごもった看  
護を心掛け努力して  
いきたいです。



河野 玲  
(看護部)

明るく笑顔でチームの  
一員として頑張ります!  
よろしくお祈りします。



船田 美子  
(看護部)

一日も早く業務を覚  
え、微力ですが精一  
杯頑張りたいと思っ  
ています。



田泓 夏花  
(薬剤科)

患者さんの立場に立  
って物事を考えるこ  
とのできる薬剤師を  
目指して精進して参  
ります。



佐藤 唯  
(リハビリテーション科)

いつも明るく笑顔を忘  
れずに、日々向上心  
を持ち、患者さんのた  
めになるよう頑張っ  
ていきます。



黒木 汰一  
(リハビリテーション科)

1日でも早く職場に慣  
れ、理学療法士として  
患者さんのために一  
生懸命頑張りたいで  
す。



熊谷 太希  
(リハビリテーション科)

1日でも早く仕事を覚  
え、チーム医療の一  
員として貢献できる  
よう頑張ります。



鷺野 晋之亮  
(リハビリテーション科)

常に笑顔で患者さん  
やスタッフの方々に信  
頼されるよう一生懸  
命頑張ります。



幸 敬洋  
(リハビリテーション科)

1日でも早く仕事を覚  
え、業務に慣れるよ  
うに頑張ります。



中尾 優志  
(リハビリテーション科)

1日でも早く職場に  
慣れ、学ぶ姿勢を忘  
れずに笑顔で頑張  
ります。よろしくお祈  
り致します。



工藤 直輝  
(臨床工学科)

患者さんに信頼して  
もらえる様な臨床工  
学技士として一生健  
命頑張りたいと思っ  
ています。



水町 俊介  
(臨床工学科)

早く仕事を覚えて患  
者さんに信頼される  
ように努力します。



渡邊 理紗子  
(医療事務課)

仕事を早く覚えられ  
るよう精一杯努力し、  
常に笑顔で心掛け  
患者さんやスタッフ  
の方々に信頼される  
よう頑張ります。



後藤 晃司  
(医療事務課)

見て、聞いて、反復して学  
び、いち早く業務を覚  
え、患者さんに元気  
になって頂けるよう  
な笑顔で仕事に  
励みたいで。



坂本 君子  
(はやの里 准看護師)

定年後リフレッシュしたおかげで、記念病院で  
経験した事を活かせる場所に就職でき感謝し  
ています。利用者の方の「人生の質」「生活の  
質」を少しでも理解し、楽しく過ごしていただ  
けるよう役に立ちたいと思います。

## 編集後記

清々しい新緑の季節が到来。当院は、今年度もた  
くさんの新入職員を迎え、フレッシュな空気が吹き  
込んできました。

さて今回の巻頭言は、米国の「メイヨー・クリニッ  
ク」の成り立ちと発展についてです。当院が理想とす  
るこの病院は、患者さんのニーズを最優先し、病院  
スタッフ全員が協調し努力するという精神を19世紀  
半ばから現在に至るまで持ち続けていて、米国でも  
最も優れた病院のひとつとなっています。当院も「メ  
イヨー・クリニク」の精神を念頭に新しく入った精鋭  
たちとともにスタッフ全員で邁進して参ります。

また健康欄では「たばこケースのプレーンパケ  
ージ規制」について取り上げ、未だたばこの販売促  
進に熱心な日本について警鐘を鳴らしています。健  
康への被害の観点から考えても喫煙を容認する日  
本の極めて深刻な事態に憂いを持たずにはいられ  
ません。(図書室 河野)

## 医療法人 大分記念病院

基本  
理念

1. 私達は法人各施設・各部門が協力して、患者中心のチーム医療と利用者中心のチームケアを実践することにより患者及び利用者の満足度と幸福に貢献します。
2. 私達は常に診療レベルの向上を図ると共に地域住民の皆様へ安全で良質な医療とケアを提供します。
3. 私達は地域の医療、福祉機関との緊密な連携を保ちながら一般急性期医療および地域包括ケアを実践します。

基本  
方針

1. 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた全職員による全人的医療を患者の皆様へ提供します。
2. 患者及び利用者の皆様へ立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
3. 患者及び利用者の皆様へ満足度を高めるべく、心のごもった医療と介護サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

